

# 新任薬剤師研修を終えて

災害医療センター 薬剤部 武 真美子

出身大学：北里大学（平成29年）

興味のある分野：がん、感染、糖尿病

平成29年4月より災害医療センターに配属になりました、武真美子です。

勤務を始めて最初は分からないことばかりで、業務内容を覚えることに精一杯でミスも多く、自分自身の不甲斐なさを痛感し反省する毎日でした。しかし、先輩方から丁寧にご指導いただき、業務の幅も少しずつ広がってきています。現在は、調剤業務、抗がん剤調製、病棟業務に携わっています。知識不足で分からないことが多く、何から調べ、覚えていけばいいのかと悩んだこともありましたが、病棟業務で今自分が担当している患者さんの病態や薬剤について全力で調べて一つずつ頭にいれていこう、と前向きに考えられるようになってきました。患者さんと関わる中で、学ぶ事の多さを日々感じています。

7月1日の第21回新任薬剤師研修会では、「医療安全」について、講義やグループワークが行われました。

研修前半の「医療安全とは」という講演では、リフキシマ錠とリクシアナ錠の取り違いの最近のニュースなど、これまでに実際に起きた薬剤の取り違いのインシデントをもとに、どのような条件が重なり起きてしまったのか？どこかで止められなかったのか？と背景要因について取り上げられました。実際に起きたインシデントの背景要因について知ること、情報をしっかりと共有することの大切さ、自分自身どのようなことに注意していくべきかなど、改めて考えることができました。講義の中で印象に残ったことは、間違いを絶対に起こさないのではなく、人は必ず間違いをする、という考えをもつべきだということです。入職して4カ月経ちますが、私自身間違えることは多々あります。間違いを起こさないように自分自身がしっかりしなければ、という考えで終わって

いました。しかし、間違いから自分の癖を自覚し、個人や組織としての改善策を考え、同じ間違いを繰り返さないようにすることが重要なのだと学ぶことができました。

研修後半の「チームSTEPPS」では、①リーダーシップ②状況モニター③相互支援④コミュニケーションの4つの概念について学びました。印象に残ったことは、紙、はさみ、セロハンテープを使って時間内に輪をどれだけ多く作り上げられるか、というグループワークです。会話ができない、片手しか使えない、などの条件が加えられていきました。各自がリーダーシップを発揮し役割分担すること、状況をモニターし相互支援をおこなうことで早く長く輪をつなげることができました。また会話せずに輪をつなげる難しさから、コミュニケーションの重要性を改めて感じました。病院での医療安全のためにチームSTEPPSの概念を取り入れることはとても重要だと思います。今回の研修では薬剤師同士でしたが、実際には他職種の方々と上手くコミュニケーションをとっていくことが必要になるので、4つの概念を生かしてこれからチーム医療に貢献することができればと思います。

研修後には情報交換会を開催していただきました。同期や先輩の先生方との交流を深めることができ、良い刺激をたくさん受けることができました。研修から情報交換会まであっという間でしたが、大変有意義な時間を過ごすことができ、とてもいい経験となりました。

最後になりましたが、研修会に携わって下さった先生方、日頃お世話になっております災害医療センターの先生方にこの場をお借りして心より感謝を申し上げます。